

くもがいつぱい

片上小学校二年 木村 星那

くもがもくもく

おいしそうなわたがし

くもがふわふわ

やわらかいまくらみたい

くもがもふもふ

かわいいひつじさん

くもがふによふによ

しゃぼんだまみたい

あれ、

くもがない

大きなうみみたい

つぎは、どんなくもにあえるかな

あめのひに

備前中学校一年 浅野 瑞葵

あめのひだけに  
はなをさかせる  
バサツとおとをたてて

あたまにはいつも  
つめたいものが  
たくさんおちてくる

たいせつなものを  
ぬらさないように  
たいせつなおもいを  
ぬらさないように

わたしは はなを  
さかせます

## 四角の世界

備前市野谷 柊 井 茉 結

四角の中にひとり。

白に囲まれたモノクロ世界。

カーテン越しに

青い色。

蝉の鳴き声。

四角の外と中。

手を伸ばす 青い色。

近付かない 青い色。

離れもしない 青い色。

カーテンが遮る

見えない空に 手を伸ばす。

届かない。

四角の中にひとり。

白に囲まれた灰色世界。

窓の外に手を伸ばした。

目映い光。

絡まる熱気。

四角の中と外。

手を伸ばす 青い空。

近付かない 青い空。

離れもしない 青い空。

カーテンが揺れる。

晴れた空に 手を伸ばす。

届かない。

それでも伸ばす めいっぱい。

第六回備前市文学賞 短歌 入選作品

【小学生の部】

三石小学校六年 竹内 瑞 姫

夏の夜虫の鳴き声なりひびくすてきな音の発表会だ

【中学生の部】

備前中学校二年 高坂 陸

夏の海釣りをする船よみがえるエンジン音と亡き祖父の顔

【一般の部】

備前市伊部 鳥越 恵

ただそこに凜と佇む燃ゆる楷学ぶ心の礎として

朝露のしたたる緑の鮮やかさ澄んだ空気に夏の訪れ

涼やかに風鈴たなびく陶の道響く音色に作家の息吹

第六回備前市文学賞 俳句 入選作品

【小学生の部】

日生東小学校五年 大森 冨華

おどりだすゴソゴソと雪だるま

【中学生の部】

伊里中学校三年 橘 零 冨

立ちほだかる雲の峰は父のよう

青春を音にたくした夏の日々

【一般の部】

備前市日生町日生 星 尾 幹 枝

夕顔の咲きしそこらをまた往き来

沖からの雲流れいる茅の輪かな

花束の中にひまわりある別れ

第六回備前市文学賞 川柳 入選作品

【小学生の部】

日生東小学校一年 千田 亮太

やられたなからすにすいかたべられた

【中学生の部】

日生中学校二年 川橋 海誠

努力した鉛筆の跡は裏切らない

【一般の部】

備前市八木山 有吉 一行

オバちゃんも浪花で願うG二〇

火櫛にビール委ねて絹の泡

忍び酒ミッドナイトのプルトップ